

# 取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



# 共同受信用CATVブースター

電源内蔵形 屋内用

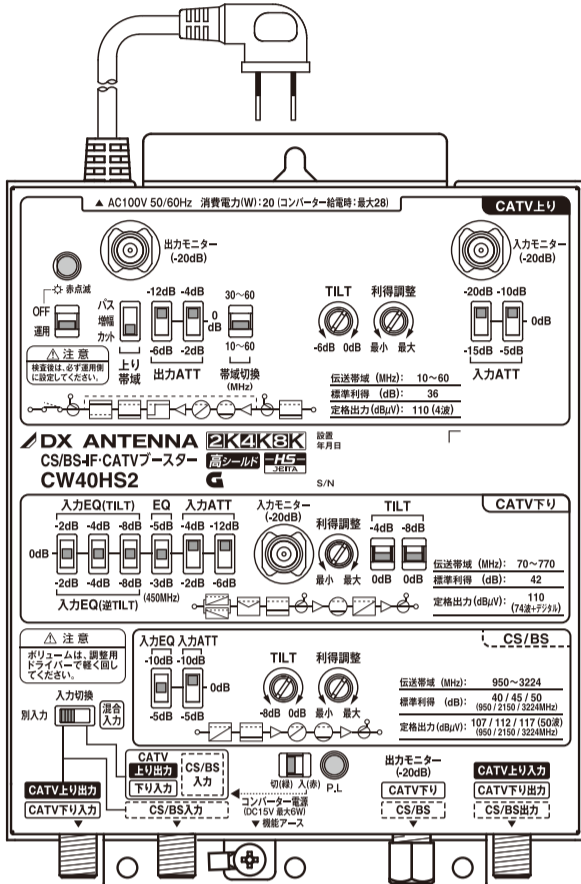
—CS/BS-IF・CATV ブースター (高出力形)—



上り10~60MHz、下り70~770MHz、CS/BS-IF 950~3224MHz増幅用

# CW40HS2 CATV40dB形

新4K8K衛星放送に対応  
すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。



付属品 table with 1 item: 木ネジ(4.1x16mm).....3本

安全上のご注意  
お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。



## 警告

- 異常があるときは、すぐに使用をやめる... 製品内部に水などがいった場合... 本製品は屋内専用です... 電源プラグは、コンセントの根元までしっかりと差し込む... 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く... ぬれた手で電源プラグを触らない... 雷が鳴りだしたら、製品には触れない... 同軸ケーブルを傷つけない... ケースが破損した場合は、電源コードや同軸ケーブルを抜く... 製品にテーブルクロスやカーテンなどの燃えやすいものを掛けない... 製品を分解・改造しない... 取り付けネジや接線の締め付け(トルク)に指定がある場合は、その力(トルク)で締め付け、固定する... 接地する...

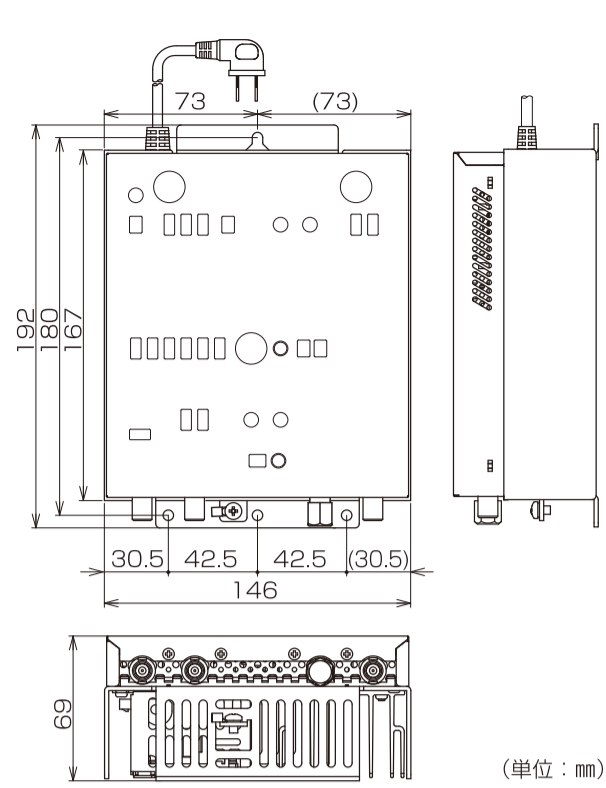
## 注意

- テレビ受信工事には技術と経験が必要です... AMラジオから1.5m以上離して使用する... 注意

## 使用上のご注意

- スイッチを切り換える場合、切換操作を数回行い、スイッチ接点部の活性化(クリーニング)をしてください... 出力モニターは、出力端子レベルから20dB低いレベルを出力しますが、出力端子にケーブルが接続されていないと正確なレベルを出力しません... CATV施設やヘッドエンドなどのある施設で使用してください... 放熱性に富むアルミ合金製シャーシを採用しています... 上り帯域を使用しない場合は、CATV上り増幅/パス/カット切替スイッチをカット側にしてください... 上り帯域を調整後は必ず出力切替スイッチを「運用」側(LED消灯)にしてください... 正常な動作を確認するために、定期的な点検を実施してください。

## 外形寸法図



製品に関するお困りごとを解決! Dサポ! DXアンテナ サポートポータル. QRコードからアクセスしてください.

※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

## 保証書

保証期間: 1年間. 保証内容: 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください... 無償修理: 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください... 適用の除外: ①ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷... ②お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷... ③火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争、暴動による破壊行為、公害、損害、ガス害または、ねずみや昆虫、鳥などの動物の行為による損傷... ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象... ⑤用途以外(例えば車庫、船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷... ⑥製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(レシート、納品書など)を提示、添付されていない場合... ⑦保証書にお買上げ年月日、お買い求めの販売店の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。

お買上年月日: 年 月 日. ご販売店: . 電話: ( ) .

カスタマーセンター 0570-033-083. DXアンテナ株式会社. 一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合: 050-3818-9016

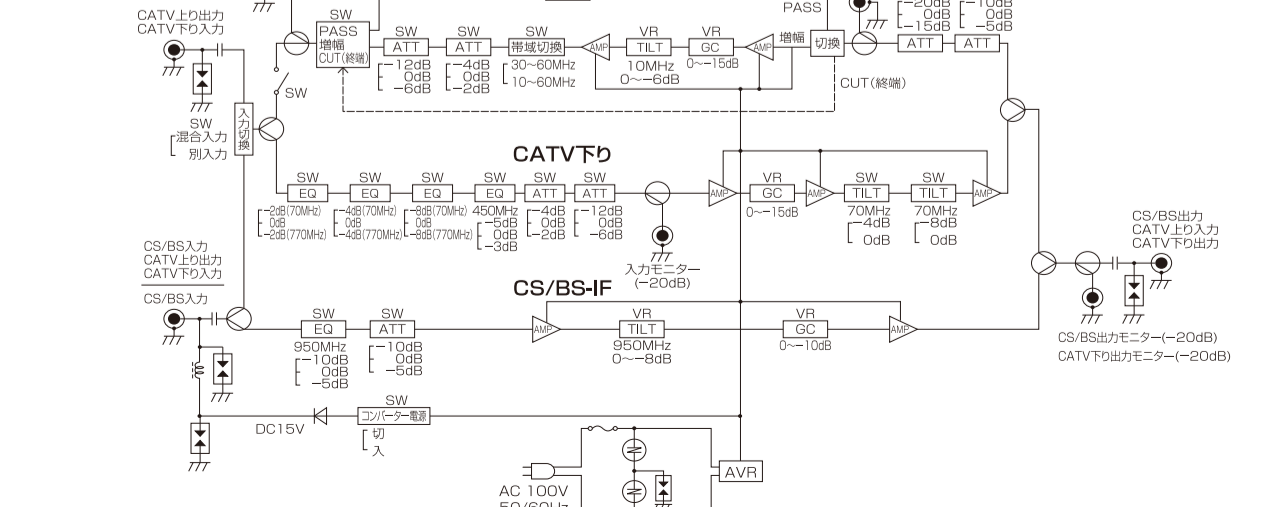
## 規格特性

品名 / 型番	CS/BS-IF・CATVブースター / CW40HS2		
	CATV上り	CATV下り	CS/BS-IF
使用帯域	10~60	70~770	950~3224
周波数帯域 (MHz)	10~60	70~770	950~3224
標準入力レベル (dBμV)	74	68	67
標準利得 (dB)	36(増幅)/0~-9(パス)	42	40/45/50(950/2150/3224MHz)
定格出力レベル (dBμV)	110(4波)	110(74波+デジタル)(注1)	107/112/117(950/2150/3224MHz)
入力A T T (dB)	0, -5/-10, -15/-20(注2)	0, -2/-4, -6/-12(注2)	0, -5/-10(スイッチ切換式)
入力E Q (dB)	-	0, -2, -4, -8(70MHz)/0, -2, -4, -8(770MHz)※(注2)	0, -5/-10(950MHz)(スイッチ切換式)(注3)
利得調整範囲 (dB)	0~-15以上連続可変	0~-15以上連続可変	0~-10以上連続可変
T I L T (dB)	0~-6以上連続可変	0, -4, -8(注2)	0~-8以上連続可変(注3)
出力A T T (dB)	0, -2/-4, -6/-12(注2)	-	-
帯域内周波数特性 (dB)	±1.0以内(注4)	±2.0以内(注4)	任意の34.5MHzで±1.0以内、全帯域で±2.5以内(注4)
雑音指数 (dB)	8以下(注4)	10以下(注4)	10以下(注4)
入出カインピーダンス (Ω)	75 (F形)		
V S W R	2.0以下(注4)	-	2.5以下(注4)
C S O + B e a t (dB)	-60以下(注4)	-65以下(注4)	-
C T B (dB)	-60以下(注4)	-60以下(注4)	-
C I N (dB)	-	-	-22以下(注4)
利得安定度 (dB)	±1.0以内	±1.5以内	±2.0以内
入力モニター (dB)	-20	-20	-
出力モニター (dB)	-20	-	-
上り調整入力 (dB)	-20	-	-
耐衝撃波	入力出力端子・電源端子 JEC: ±25kV(1.2/50μs), IEC: ±15kV, ±1.5kA(1.2/50~8/20μs)コンパネーション		
直流供給電源	-		
電源 / 消費電力	AC100V(50/60Hz) 20W / コンバーター給電時 28W		
使用温度範囲 (℃)	-10~+40		
漏洩電界強度 (dBμV/m)	34以下	-	40.2以下
外形寸法 (mm)	192(H)x146(W)x69(D)		
質量 (kg)	1.3		

注1) デジタル(550~770MHz)は-10dB運用. 注2) 加算式. 注3) 3224MHz基準. 注4) 利得最大時. 注5) 下り入力チャンネル数の最大利得時における上り帯域内のD/U比※70MHzと770MHzは、同時に設定することはできません。仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

2K4K8K High Shield HS JETA. 2K・4K・8K放送対応マークは、BS-110BSiにて既に放送されている2K放送と4K・8K放送(新4K8K衛星放送)に対応した機器(3224MHz)であることを示します。

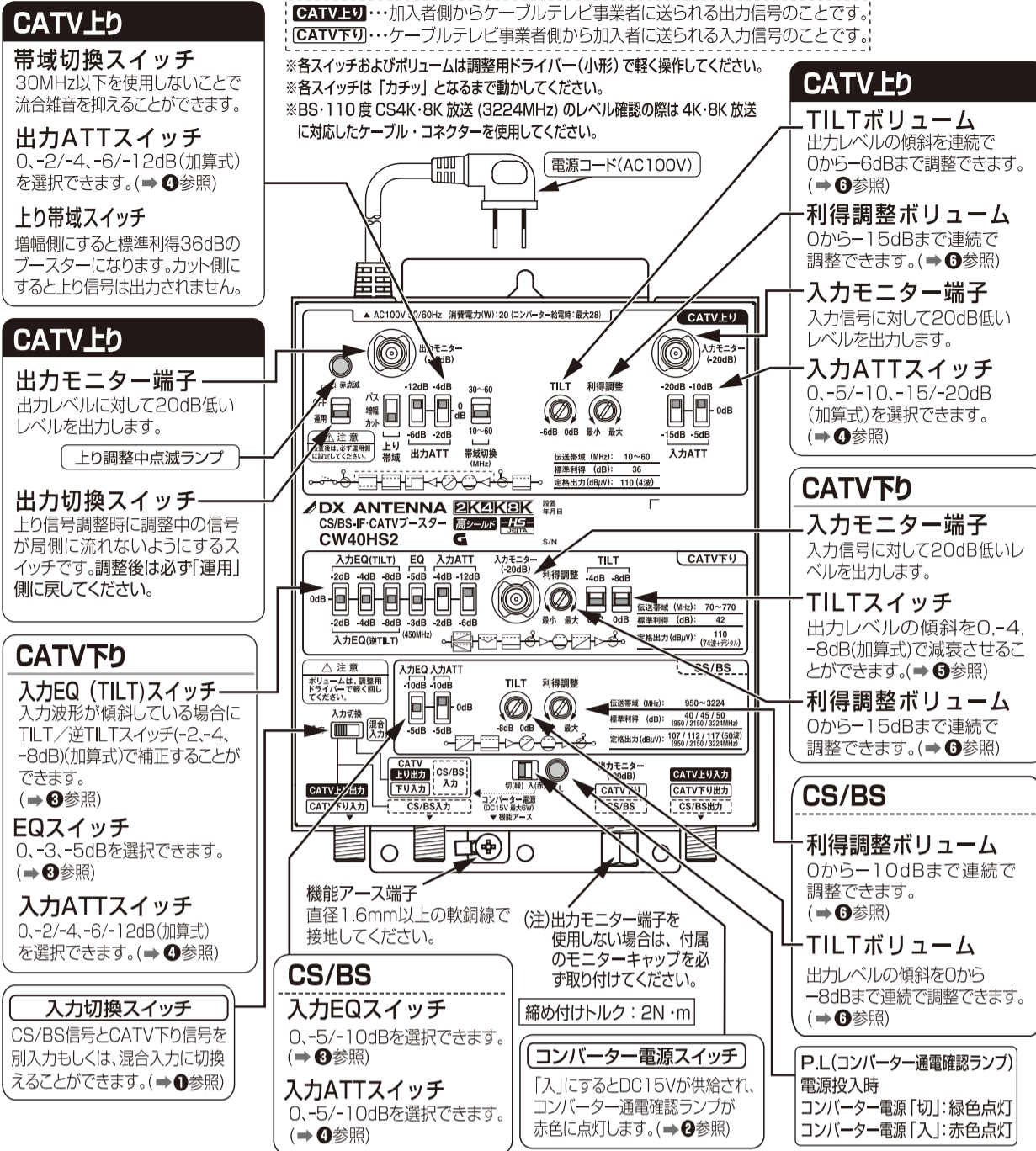
## ブロックダイアグラム



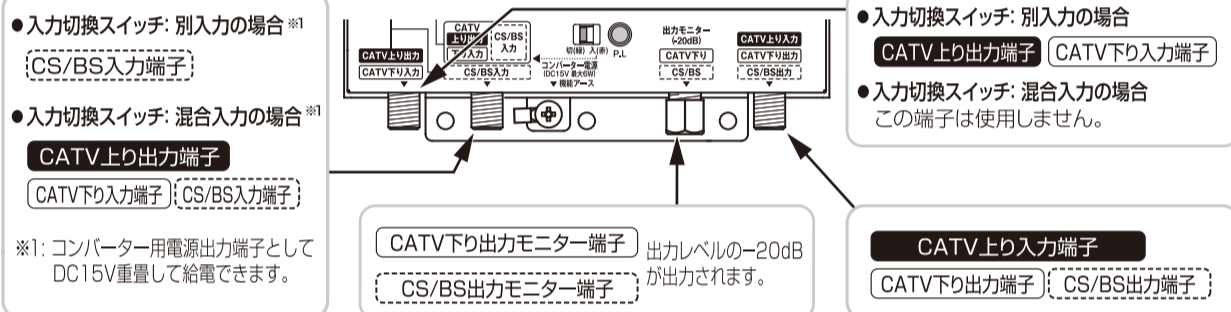


## 各部の名称

※下図スイッチ位置は出荷時の設定です。出荷時のボリューム位置は最小側です。



## 接続端子



## お取扱いの前に

- 設置作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行ってください。
- 本製品は屋内専用です。屋外に設置する場合は、必ず防水・防雨ならびに放熱処理を施した収容ボックスなどに収容してください。
  - プースターを落としたり、ぶつかけたりしないよう注意してください。
  - 取り付けに用いる以外のネジを回したり、製品本体のカバーを開けて回路部品に手を触れたりしないでください。前記に伴う故障については、製品保証の対象外になります。
  - 電源を供給する前に機能アースを必ず接地してください。なお、機能アースは安全アースではありません。
  - この製品に接続する同軸ケーブルが7Cタイプの場合には、必ずコンタクトピン付接合器をご使用ください。心線の径が1.1mmを超えるケーブルを直接接続すると、変形や接触不良の原因となります。
  - 接続に使用する同軸ケーブルへの接合の取り付けは、その同軸ケーブル専用の接合を説明書に従って加工してください。特殊な加工をしたものを使用すると特性の悪化や機器の破損につながります。
  - 入出力端子へのF形接合の接続は、接続ナットを2N・mで締め付けてください(締め付けの過不足は故障や障害の原因となります)。
  - 上り帯域の調整は、必ず管轄ケーブルテレビ事業者の了解のもとで行ってください。

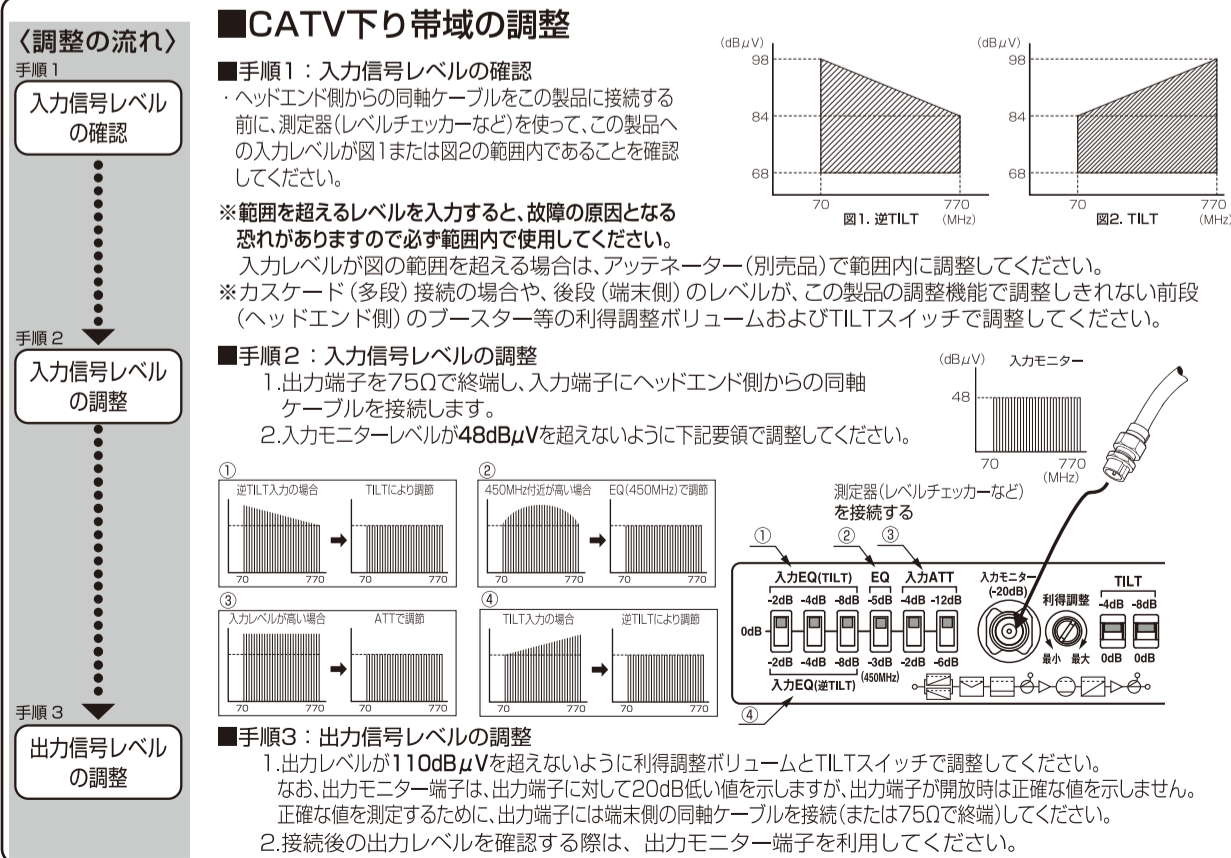
## 取付方法

- 図のように板壁または放熱処理を施した収容ボックスのパネル板に壁面取付金具を付属の木ネジ1本で取り付け、プースターを掛けてください。次に残りの木ネジ2本でプースターの下側を固定し、しっかりと取り付けください。
- 本製品を1台収納する収容ボックスは、(H)700mm×(W)700mm×(D)140mm以上の大きさで上下に通気孔のあるものを使用してください。

## ご注意

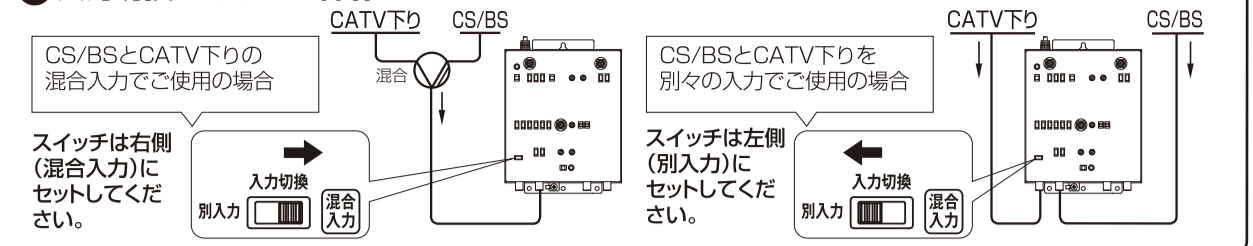
- 天井や熱のこもる場所への取り付けは避けてください。また、必ず入出力端子が下向きになるようにプースター本体を取り付けてください。他の方向に取り付けると放熱効果が失われ、性能が維持できなくなる場合があります。
- プースターを複数台設置する場合は、50mm以上間隔をあけて取り付けてください。

## 調整方法



## 1 入力切換スイッチの操作

(注) スイッチは「カチッ」となるまで動かしてください。



## 2 CS/BSアンテナへの給電

CS/BSコンバーター用電源(DC15V 最大6W)を供給する場合は、コンバーター電源スイッチを「入」にしてください。コンバーター通電確認ランプ(P.L)が赤色に点灯します。(「切」にすると緑色に点灯します。)

## 3 入力EQスイッチの操作

**CATV下りEQ(TILT)**

770MHz付近を基準として70MHzの利得が減衰します。最大14dBまで2dBステップで調整が可能です。

**CATV下りEQ(逆TILT)**

70MHz付近を基準として770MHzの利得が減衰します。最大14dBまで2dBステップで調整が可能です。

## 4 入力/出力 ATTスイッチの操作

**CATV下り(入力)**

70~770MHzがフラットに減衰します。最大16dBまで2dBステップで設定が可能です。

**CATV上り(出力)**

10~60MHzがフラットに減衰します。最大16dBまで2dBステップで設定が可能です。

## 5 CATV下りTILTスイッチ

770MHz付近を基準として70MHzの利得が減衰します。最大12dBまで4dBステップの設定が可能です。

## 6 ボリュームの操作

後段に接続される機器が過入力にならないよう、TILTと利得調整ボリュームを調整してください。TILTボリューム、利得調整ボリュームは「反時計回り」に回しきったとき、利得が最小になります。

〈ご注意〉

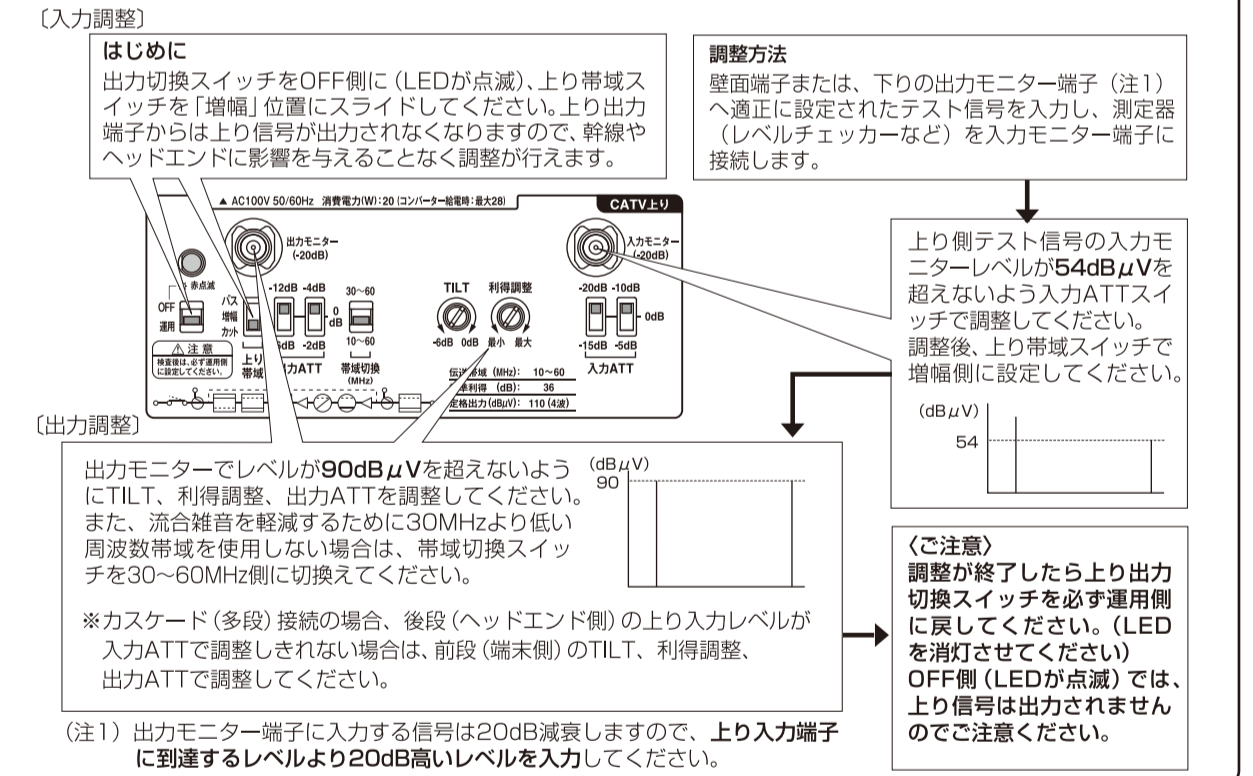
- ボリュームは調整用小形ドライバーで軽く回してください。強く回すとボリュームが破損する場合があります。

**TILT** 利得調整

最小 最大

## CATV上り帯域の調整

【事前確認】ケーブルテレビ事業者により調整方法が異なりますので、必ず管轄ケーブルテレビ事業者に確認・了解のもとで行ってください。テスト信号発生器が必要になります。また、テスト信号のレベルは使用するシステムの伝送損失(分岐、分配、同軸ケーブル、壁面端子等)で異なります。テスト信号のレベルおよび周波数については加入エリア管轄ケーブルテレビ事業者に確認をお願いします。



## CS/BS-IF帯域の調整

